

2025年度活動報告

組込みシステム産業振興機構

2025年度 事業計画

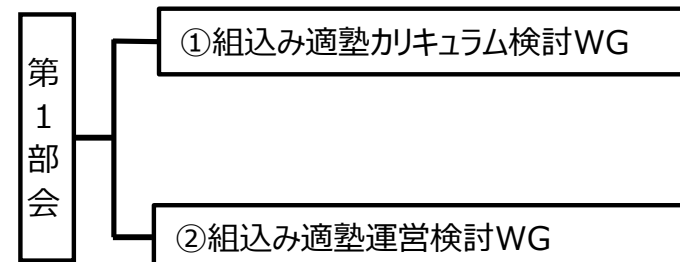
1. 「組込み適塾」のブランド価値向上

- (1) 「十字型人材の輩出」を目指したカリキュラムの改善 (①)
- (2) 開催会場変更やハイブリッド形式開催に伴う円滑な講座運営 (組込み適塾事務局)
- (3) ハイブリッド形式講座拡大に向けた運営改善検討 (②、組込み適塾事務局)

2. 自由で活発な交流の“場”の提供

- (1) 関係者/講師/受講生間の人的ネットワーク形成の支援 (②)

推進体制



2025年度の実績

1. 「組込み適塾」のブランド価値向上

【目標】(1)受講生満足度85%以上継続

- (2)講座参観結果を踏まえた次年度カリキュラムの策定、適塾サイト掲載内容の見直し
- (3)講座運営上の重大なミスやトラブル0件。
- (4)次年度ハイブリッド形式講座拡大の検討 (遠隔受講ニーズへの対応)

【実績】集合形式主体での開催を開催。受講者数は2年連続増加、一人当たり受講講座数は昨年より減少 (2年前と同等)。

受講生満足度も89.6%と事業計画目標をクリア。

- (1) 32講座 (対前年±0)、40.5日間 (対前年±0) で開催。オンライン形式講座は2講座で2.5日間、ハイブリッド形式講座は2講座で2日間。
受講者数は217名(対前年+19名)、延べ受講講座数は753講座 (対前年-112講座)、一人当たりの受講講座数は3.47講座 (対前年-21%)
受講機関数は28機関(対前年-3機関)。新規参加は前年の6機関から3機関 (全て非会員) と減少。
受講生満足度は89.6% (対前年+1.5%) で、事業計画目標の85%をクリア。
- (2) 全32講座で理解度・役立ち度・満足度3.5以上達成の状況だが、3講座に対しては講座統合やコース変更等の更なる改善案を該当講師に了承いただき、次年度カリキュラム策定を完了。適塾サイト掲載内容の見直し内容は、3月中旬の次年度適塾HP正式オープン内容に含めて掲載済。
- (3) 重大なトラブルやミスなく講座運営を完了。ハイブリッド形式2講座もつつがなく運営し、Zoom配信によるWGメンバーの講座参観を実施 (計12講座)。
- (4) ハイブリッド形式講座の選定ルールを策定の上、講師対応可の17講座から選定。今年度の2講座から次年度は4講座に拡大。

2. 自由で活発な交流の“場”の提供

【目標】(1)交流の場として「適カフェ」実施 (3回)、交流会実施 (3回以上)

(2)「適カフェ」の満足度向上(対前年比)

【実績】昼食時間を活用した「適カフェ」と講座終了後の交流会を継続し、受講者間及び受講者と講師間の自由で活発な交流を促進。

- (1) 適カフェを計3回 (参加者：計97名)、交流会 (参加者：計24名) を計4回実施し、交流を推進。
- (2) 適カフェの全体に対する満足度は51% (対前年-2%) と同等を維持し、実施時間に対する満足度は69% (対前年+16%) と大幅に向上。

2025年度 事業計画

1. 戦略的展示会開催による顧客価値創出型ビジネスへの商品提案力強化支援

- (1) 戦略的に展示会を開催し、出展先企業のDXニーズに応える商品提案の場を提供 (①)
- (2) 展示会の規模を求めるのではなく、来場者、出展社の双方が満足できる展示会形態にブラッシュアップ (①)
- (3) 出展先企業のニーズ情報取得、出展先企業との人脈形成など、出展成果向上のための施策実施 (①)
- (4) 来場者・出展企業の評価を定量化し、施策改善に活用 (①)

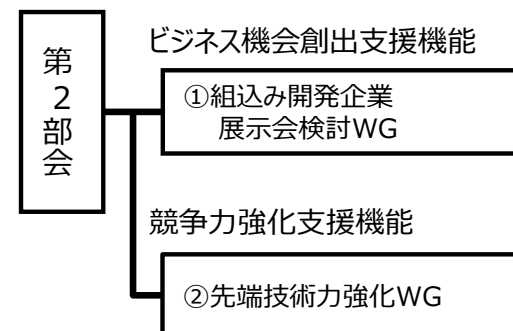
2. プライベートセミナー、先端施設見学会による競争力強化支援

- (1) 会員に有益なテーマで競争力強化につながる講演を提供 (②)
- (2) 組込み開発企業展示会と連携し、産総研講演を会員向けに実施 (②)
- (3) 講師と参加者が一体となった活発な意見交換の場と人的交流の場を提供 (②)
- (4) 先進取り組み施設見学と技術懇談により、人的交流と触発機会を提供する先端施設見学会を開催 (②)

3. WINKと連携し、参加チームの要望に応じた支援の場を提供

- (1) WINK参加チームからの要望に応じ、展示会、プライベートセミナーなど部会活動を活用した場を提供 (①②)

推進体制



2025年度の実績

1. 戦略的展示会開催による顧客価値創出型ビジネスへの商品提案力強化支援

【目標】 年間2回開催。会員メリット向上のための継続的な施策改善。展示会の出展企業の成果の定量化、見える化。

【実績】 組込み開発企業展示会をダイハツ工業（1月21日）、ヤンマーホールディングス（2月25日）で開催。

- (1) 出展先企業のニーズに合わせた展示会を2回開催（ダイハツ工業200名超、ヤンマー80名超の来場者）。
- (2) ダイハツ工業様展示会では、対面式の前にWEB式展示会にて事前に展示内容を確認・質問でき、対面式の際の展示内容へ反映可能な新たな取り組みを実施。
- (3) 出展先企業従業員様に事前に展示内容を確認いただけるパンフレットについて、展示先企業にもたす価値・競合他社との差別性（強み）などを記載
- (4) 一昨年度から直近の3回の展示会出展企業に対するアンケートを実施。展示会実施後の1年～1.5年くらいでの成果を確認。

2. プライベートセミナー、先端施設見学による先端的技術力強化支援

【目標】 プライベートセミナー 年間4回、先端施設見学会 年間2回開催。

【実績】 プライベートセミナー、先端施設見学会ともに目標達成

- (1) プライベートセミナーについて、会員企業の関心が高い生成AI、モビリティ、次世代通信、サイバーセキュリティのテーマで開催した。
参加者平均は45名（昨年度37名）、内、会場参加は15名（昨年度20名）。講師、参加者同士の交流を目的とする会場参加者が多かった。
- (2) 昨年度の橋本チエインでの産総研講演を第1回（生成AI）として7月4日に実施。
- (3) 4回ともハイブリッドで開催し、講師と参加者が質疑応答、意見交換を行う懇談会と、講師と会場参加者による交流会を開催。
- (4) 先端施設見学会を3回開催。「三菱電機 先端技術総合研究所」、「鳥取企業」、「浪速酒造」。
うち1回は、鳥取県での全国組込み産業フォーラムの前日に実施、関西から遠方での開催。

3. WINKと連携し、参加チームの要望に応じた支援の場を提供

【目標】 WINKから生まれたアイデアのビジネス化を促進する場の提供。 【実績】 WINK参加チームからの要望なし

- (1) —

2025年度 事業計画

1. **全国組込み産業フォーラム、連携セミナーによる産学官協働プラットフォーム強化**
 - (1) 議論と知見共有の場の提供による、強固なネットワーク形成の促進（全国フォーラム、連携セミナー）
 - (2) 多様な企業・団体との連携促進による、情報発信力の強化と人脈拡大（全国フォーラム、連携セミナー）
2. **WINK、共創サロンによるオープンイノベーションの更なる活性化**
 - (1) 技術者がビジネスを学び実践する場を強化し、新たな挑戦と人脈形成を促進（WINK）
 - (2) 共創マインドの継続的な浸透・定着を目指した、プログラム内容の更なる充実（共創サロン）
3. **機構プレゼンス向上のための戦略的プロモーションおよび部会施策の広報支援**
 - (1) STEP7事業方針を反映したプロモーションツール（機構サイト、パンフレット等）の改善
 - (2) 第1部会との連携による、組込み適塾（十字型人材）の普及促進

2025年度の実績

1. 全国組込み産業フォーラム、連携セミナーによる産学官協働プラットフォーム強化

- 【目標】・全国組込み産業フォーラム 登壇6団体以上、参加者50名規模
・外部団体連携セミナー（2回）※全国組込み産業フォーラム除き

【実績】

- (1) 11/28日実施の「第14回全国組込み産業フォーラム」で登壇7団体、参加者51名
- (2) 10/14日サイバーセキュリティトップセミナーを関西情報センター、関経連、情報処理推進機構と連携し実施。（50名参加）
3/5日JASAとの共催の連携セミナーを実施。

2. WINK、共創サロンによるオープンイノベーションの更なる活性化

- 【目標・WINK 応募チーム20件以上、うち会員企業5チーム以上
・共創サロン（2回）

【実績】

- (1) WINK 応募チーム16件、うち会員企業6チーム
- (2) 3/4日、5/28日共創サロンを実施

3. 機構プレゼンス向上のための戦略的プロモーションおよび部会施策の広報支援

- 【目標】・プロモーションツール（機構サイト、パンフレット等）見直し
・十字型人材の輩出に向けた広報・プロモーション展開

【実績】

- (1) プロモーションツールとして機構の説明資料の見直しを実施
- (2) 十字型人材の輩出に向けた広報・プロモーション展開については、次年度組込み適塾募集時に適塾紹介Webサイトを更新。